

事業名：公共街路灯新設更新等事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公共街路灯（道路照明灯）  
（令和3年度より指標を幹線道路延長から公共街路灯基数に変更）

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	公共街路灯基数	基	3,470	3,476	3,476	3,474
対象指標 2	更新が必要な基数	基	39	39	13	21

手段（事務事業の内容、手法）

定期的な点検の結果に基づき、損傷度などを踏まえ更新する。  
社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	更新基数	基	39	39	13	21
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

公共街路灯の更新により、その機能の維持・向上と夜間における道路環境の向上が図られる。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	更新が完了した街路灯の割合	%	100	100	100	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	34,880	39,362	14,684	122,500
正職員人件費 (B)		千円	1,521	2,281	2,230	2,239
総事業費 (A+B)		千円	36,401	41,643	16,914	124,739

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	点検結果に基づき公共街路灯の更新工事を実施する。	工事費	14,684千円

**事業開始背景**

街路灯の老朽化に伴う更新のため事業が開始された。

**事業を取り巻く環境変化**

道路法第2条第2項に規定される道路附属物として一元的な管理を行うため、平成26年度より土木事務所道路管理課に事務移管を行なった。

**令和5年度の実績による担当課の評価（令和6年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	平成25～26年度に実施した道路照明設備点検の結果に基づき、これまで計画的に公共街路灯の更新を実施してきたもの。令和2年度には2巡目の点検を行ない、当該点検結果に基づき、今後も計画的に公共街路灯の更新を実施していく。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	これまで国の社会資本整備総合交付金を活用し事業を実施してきており、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	これまで国の社会資本整備総合交付金を活用し事業を実施してきており、これ以上のコスト削減は難しい。
	なし		

事業名：空家等対策推進事業

建築指導課参事(建築政策)

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	平成30年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内全域の空き家

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市内全域の空き家(推計)	棟	300	300	300	250
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、空き家等対策の情報発信や相談体制の整備を行うほか、「江別市特定空家等解体補助金交付要綱」に基づき、特定空家等の除却・解体支援を行う。(対象：空き家の所有者等、補助金額：工事費用の3分の1、上限30万円)

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	空き家に関する相談・指導件数	件	168	152	148	130
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

危険空家等への対応及び空き家等の利活用により、安全で安心な住環境を確保する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	管理不全な空き家の解消件数	件	12	24	21	20
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費(A)		千円	135	176	286	2,279
正職員人件費(B)		千円	13,693	16,729	12,636	14,182
総事業費(A+B)		千円	13,828	16,905	12,922	16,461

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策協議会の開催</li> <li>啓発パンフレットの作成等</li> <li>危険空家等への応急対応</li> <li>特定空家等の除却・解体支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策協議会運営経費：209千円</li> <li>啓発パンフレット作成経費等：29千円</li> <li>危険空家等への応急対応資材費：48千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>	
空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、発生抑制・適正管理の推進、特定空家等への対応、利活用の推進などの空き家等対策を総合的かつ計画的に実施する。	
<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
近年、人口減少や少子高齢化による家族構成の変化、住宅ストックの余剰等の社会情勢の変化等により、全国的に空家等が年々増加している。	

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>						
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>						
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;"><b>上がっている</b></td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3">江別市空家等対策計画（平成30年3月策定）に基づいて、空き家等対策を推進している。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	<b>上がっている</b>	理由 根拠	江別市空家等対策計画（平成30年3月策定）に基づいて、空き家等対策を推進している。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
<b>上がっている</b>	理由 根拠	江別市空家等対策計画（平成30年3月策定）に基づいて、空き家等対策を推進している。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>						
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3">空き家等の管理意識の醸成を図り、関係団体等との連携を着実に進めることで、適正管理の推進や特定空家等への対応、利活用の推進などの空き家等への対策を進める。</td> </tr> <tr> <td><b>成果向上余地 中</b></td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	空き家等の管理意識の醸成を図り、関係団体等との連携を着実に進めることで、適正管理の推進や特定空家等への対応、利活用の推進などの空き家等への対策を進める。	<b>成果向上余地 中</b>	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	空き家等の管理意識の醸成を図り、関係団体等との連携を着実に進めることで、適正管理の推進や特定空家等への対応、利活用の推進などの空き家等への対策を進める。				
<b>成果向上余地 中</b>						
成果向上余地 小						
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>						
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2">予算措置は、空家等対策協議会運営費、危険空家等への応急対応資材費、特定空家等解体補助金などであるため、予算削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td><b>なし</b></td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	予算措置は、空家等対策協議会運営費、危険空家等への応急対応資材費、特定空家等解体補助金などであるため、予算削減は難しい。	<b>なし</b>	
ある	理由 根拠	予算措置は、空家等対策協議会運営費、危険空家等への応急対応資材費、特定空家等解体補助金などであるため、予算削減は難しい。				
<b>なし</b>						

事業名：河川等維持事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市が管理する河川、調整池及び集水路

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標 2	調整池数	箇所	27	27	27	27

手段（事務事業の内容、手法）

巡回により不具合を発見する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	河川・調整池の不良箇所数（令和5年度まで）	箇所	7	8	9	0
活動指標 2	巡回日数（令和5年度まで）	日	0	120	120	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

本来発揮すべき機能を維持し水害を防止する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	河川・調整池の補修工事数（令和5年度まで）	箇所	7	8	9	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	29,968	23,309	115,849	145,595
正職員人件費 (B)		千円	7,607	7,604	7,433	11,196
総事業費 (A+B)		千円	37,575	30,913	123,282	156,791

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	屯田川護岸工事	屯田川護岸工事	14,052千円
	準用河川、普通河川、集水路の床ざらい工事	河川等床ざらい工事	31,130千円
	調整池フェンス設置工事	調整池フェンス設置工事	3,099千円

**事業開始背景**

屯田川の法面が崩壊したことにより、復旧工事を実施し背後地への被害を防止する。  
床ざらい等により流下能力を確保し、河川等の氾濫を防ぐ。

**事業を取り巻く環境変化**

近年、全国的に予測不能かつ集中豪雨が発生しており、より適切な河川管理が求められている。

**令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>計画どおりに進捗している。</p> <p><b>上がっている</b></p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>令和2年度から新設された緊急浚渫事業債を活用することにより、成果向上余地は大きい。 (一般財源を削減し、事業量を増加することが可能。)</p> <p><b>成果向上余地 大</b></p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	理由根拠	<p>近年、労務単価や物価が上昇しており、コストの削減は見込めない。 既に緊急浚渫事業債の活用を行っており、一般財源の削減は困難。</p> <p>ある</p> <p><b>なし</b></p>

事業名：排水機場維持管理事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

排水機場

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	排水機場数	箇所	18	18	18	18
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

定期的に点検・巡回を実施する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	維持管理費（令和5年度まで）	千円	67,543	73,162	75,533	0
活動指標 2	施設巡回・点検回数（令和5年度まで）	回	9	9	9	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

大雨時において、排水機場が故障がなく円滑に排水運転が可能な状態にし水害を防止する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2	維持補修件数（令和5年度まで）	件	7	0	9	0

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	67,543	73,162	75,533	77,256
正職員人件費 (B)		千円	6,086	6,083	5,946	5,971
総事業費 (A+B)		千円	73,629	79,245	81,479	83,227

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	排水機場（18機場）の点検整備、維持修繕、排水運転	管理委託	58,850千円
		排水運転委託	1,426千円
		光熱水費	4,442千円
		施設等修繕費	5,084千円

<b>事業開始背景</b>
大雨時に要する内水排除施設（排水機場）の維持管理。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
近年、全国的に予測不能かつ集中豪雨が発生しており、適切な内水排除施設（排水機場）の維持管理が求められているが、老朽化による修繕費の増大が見込まれている。

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">点検により予防保全を行っており、概ね予定どおり進捗している。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>どちらかといえば上がっている</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	点検により予防保全を行っており、概ね予定どおり進捗している。	<b>どちらかといえば上がっている</b>	上がっていない
上がっている	理由 根拠	点検により予防保全を行っており、概ね予定どおり進捗している。				
<b>どちらかといえば上がっている</b>						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">施設の老朽化が著しいなどの困難があるが、現行の予算規模で成果指標を維持する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>成果向上余地 中</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	施設の老朽化が著しいなどの困難があるが、現行の予算規模で成果指標を維持する。	<b>成果向上余地 中</b>	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	施設の老朽化が著しいなどの困難があるが、現行の予算規模で成果指標を維持する。				
<b>成果向上余地 中</b>						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">既に必要最小限のコストで施設の維持管理を行っている。 今後老朽化がさらに進み、修繕費が増加することが予想される。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>なし</b></td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	既に必要最小限のコストで施設の維持管理を行っている。 今後老朽化がさらに進み、修繕費が増加することが予想される。	<b>なし</b>	
ある	理由 根拠	既に必要最小限のコストで施設の維持管理を行っている。 今後老朽化がさらに進み、修繕費が増加することが予想される。				
<b>なし</b>						

事業名：江別河川防災ステーション管理経費 土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別河川防災ステーション

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別河川防災ステーションの維持・管理を行う。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	開設日数	日	308	308	309	307
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

次の機能を有する施設にすること。  
 ・機資材の備蓄  
 ・水防基地としての機能確保  
 ・水防学習や訓練の場としての機能確保  
 ・地域の交流の場として快適な空間を確保

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	保全施設数	施設	1	1	1	1
成果指標 2	利用者数	人	76,872	105,738	112,574	110,000

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	22,813	24,215	27,045	27,332
正職員人件費 (B)		千円	4,564	4,562	4,460	4,478
総事業費 (A+B)		千円	27,377	28,777	31,505	31,810

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	江別河川防災ステーションの維持管理	館内管理業務	16,126千円
		燃料費	1,295千円
		光熱水費	5,022千円
		施設等修繕費	2,291千円

<b>事業開始背景</b>
水防活動の拠点及び平時には防災意識向上を目的として建設した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
平成16年度から各種イベントが開催され平時の利活用が進んでいる。 令和4年度は、初めて来客数が10万人を突破した。

<b>令和5年度の実績による担当課の評価（令和6年度7月時点）</b>				
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？				
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>展示物（上川丸のレプリカ）が漫画に掲載されたことや、各種イベントにより来客数が増加し、令和4年度に初めて10万人を突破した。</p> </td> </tr> </table>	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	<p>展示物（上川丸のレプリカ）が漫画に掲載されたことや、各種イベントにより来客数が増加し、令和4年度に初めて10万人を突破した。</p>
<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	<p>展示物（上川丸のレプリカ）が漫画に掲載されたことや、各種イベントにより来客数が増加し、令和4年度に初めて10万人を突破した。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>コロナウイルス感染症が5類相当となったことで、来客数が増加傾向である。</p> </td> </tr> </table>	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	<p>コロナウイルス感染症が5類相当となったことで、来客数が増加傾向である。</p>
<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	<p>コロナウイルス感染症が5類相当となったことで、来客数が増加傾向である。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？				
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>既に必要最低限のコストで施設運営を行っている。 施設の老朽化が進んでいることから、今後、修繕費が増加することが想定される。</p> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠	<p>既に必要最低限のコストで施設運営を行っている。 施設の老朽化が進んでいることから、今後、修繕費が増加することが想定される。</p>
<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠	<p>既に必要最低限のコストで施設運営を行っている。 施設の老朽化が進んでいることから、今後、修繕費が増加することが想定される。</p>		

事業名：耐震化推進支援事業

建築指導課参事(建築政策)

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者及び、居住者又は居住予定者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	対象建築物数	戸	4,656	420	420	420
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

同計画に基づき耐震化を促進するために木造住宅等の無料簡易耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付要綱」により専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。補助対象：昭和56年5月31日以前に着工された木造戸建て住宅等。補助率：耐震診断＝3分の2(上限8万9千円)、補強設計＝3分の2(上限10万円)、耐震改修＝23%(上限82万2千円)。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	0	79	975	3,789
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	2	2	4	5

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	補助利用率	%	0	3.45	42.6	100
成果指標 2	補助金の交付件数	件	0	2	3	14

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費(A)		千円	4	83	994	3,808
正職員人件費(B)		千円	8,368	10,646	7,433	9,703
総事業費(A+B)		千円	8,372	10,729	8,427	13,511

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料簡易耐震診断</li> <li>・専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修への補助</li> <li>・耐震化支援制度のPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断・補強設計・耐震改修への補助 975千円</li> <li>・新規耐震パンフレットの製作・印刷 19千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

江別市耐震改修促進計画に基づき、建築物の耐震化を促進するため、対象市民を支援する。

**事業を取り巻く環境変化**

令和4年2月に第3次江別市耐震改修促進計画を策定し、老朽化した建築物の建替・除却等の促進などの新たな施策を位置つけた。

**令和5年度の実績による担当課の評価（令和6年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p><b>どちらかといえば上がっている</b></p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>機会を見つけての積極的なPR等で成果があった。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p><b>成果向上余地 中</b></p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>補助制度の対象拡大について検討を進めており、また、更なる制度周知を図ることにより、成果の向上が見込まれる。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	<p>ある</p> <p><b>なし</b></p>	<p>理由根拠</p> <p>国の交付金及び北海道の補助金を活用して事業を実施しており、これ以上のコスト削減は困難。</p>

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	廃止	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部）

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	281	277	308	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部を新栄団地に建替・集約する。  
 新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。  
 R2～R3 E棟建設，R4～R5 F棟建設

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	建設戸数	戸	49	0	49	0
活動指標 2	除却戸数	戸	0	0	0	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化し、狭隘な住宅を建て替えることにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	団地改善率	%	85.8	87	94.2	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	924,984	369,639	996,204	0
正職員人件費 (B)		千円	7,607	7,604	7,433	0
総事業費 (A+B)		千円	932,591	377,243	1,003,637	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	・新栄団地F棟建設工事（建築工事・各種工事） 2年目	2	・新栄団地F棟建設工事（建築工事・各種工事） 2年目 993,698千円

<b>事業開始背景</b>
住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的として整備した市営住宅の適正な管理を図る。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
江別市営住宅長寿命化計画に基づき建替え事業を実施し、完了することができた。

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<input checked="" type="radio"/> 上がっている <input type="radio"/> どちらかといえば上がっている <input type="radio"/> 上がっていない	理由根拠
	<p>新栄団地の建替が完了したことで、団地改善率が向上し、市民の安全・安心な生活が保たれる。</p>	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<input type="radio"/> 成果向上余地 大 <input type="radio"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="radio"/> 成果向上余地 小	理由根拠
	<p>令和5年度で当事業が完了したため。</p>	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> なし	理由根拠
	<p>令和5年度で当事業が完了したため。</p>	

事業名：公園管理事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する都市公園

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市が管理する都市公園数	箇所	232	231	231	231
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- 施設の維持管理及び管理運営を指定管理者に委任する。
- 公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改築を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	指定管理料（R2・R3予算は市管理経費を含む）	千円	183,026	180,485	183,659	186,934
活動指標 2	改築遊具・施設数	施設	14	35	19	34

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園とする。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	自主事案件数（指定管理者）	件	4	9	11	11
成果指標 2	累計改築遊具・施設数	施設	40	75	94	126

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費(A)		千円	377,991	435,777	444,588	482,408
正職員人件費(B)		千円	29,668	29,656	23,414	23,512
総事業費(A+B)		千円	407,659	465,433	468,002	505,920

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）					
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者による管理運営</li> <li>公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の改築及び修繕</li> <li>アダプトプログラム</li> <li>樹木管理（剪定、伐採等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料</li> <li>改築関係工事費</li> <li>維持補修関係工事費</li> <li>維持補修関係委託料</li> </ul>	183,659	192,968	9,998	21,297	千円

**事業開始背景**

市が管理する都市公園の維持管理業務については、平成20年度より指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上や管理経費の縮減を図っている。

**事業を取り巻く環境変化**

- ・市及び指定管理者は公園施設の安全対策を重点的に行っているが、その反面、公園管理に関する市民要望は年々多様化してきている。厳しい財政状況の下、市民のニーズに応えることが難しい状況となっている。
- ・遊具等の公園施設の改築・更新については、国の補助事業を導入し、公園施設長寿命化計画に基づいた施設改築を実施している。
- ・遊具改築における新規遊具の選考において、近隣小学校へのアンケート調査を実施し、利用者のニーズを踏まえた改築を実施している。
- ・遊具修繕に伴い使用禁止となる遊具については、修繕完了予定時期を明示するなど、利用者への修繕スケジュール周知を実施している。

**令和5年度の実績による担当課の評価（令和6年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	指定管理制度導入により、公園管理業務の成果が徐々に表れている。また、平成27年度より公園施設長寿命化計画に基づいた施設改築を進めている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	コストの増加が見込まれるが、老朽化した遊具・施設の改築数を増加することにより、公園利用の促進や公園利用環境の向上が図られる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由根拠	効率的な維持管理を実施しており、更なるコスト削減は難しい。
	なし		

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する都市公園

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市が管理する都市公園数	箇所	232	231	231	231
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- 公園施設長寿命化計画に基づき、公園の再整備を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）
- 整備内容については地域の子供達や自治会の参加によるワークショップ会議により計画する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	再整備公園数	箇所	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- 市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。
- 公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	累計再整備公園数	箇所	18	19	20	21
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	49,298	53,718	59,354	60,430
正職員人件費 (B)		千円	7,607	7,604	5,946	5,971
総事業費 (A+B)		千円	56,905	61,322	65,300	66,401

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>みやまち公園再整備工事（大麻宮町） 面積：約 0.47ha 内容：遊具更新、バリアフリー化等</li> <li>公園再整備に向けたワークショップ開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備工事費 52,896 千円</li> <li>一般委託料 6,300 千円</li> </ul>	

事業開始背景	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域からの修繕要望が高く、通常の維持管理だけでは対応できない身近な公園を対象として、平成2年度から「子供たちが参加できる公園づくり事業」として、事業着手した。</li> <li>・平成15年度から「市民参加による公園づくり事業」として、事業を継続中である。</li> </ul>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>当初は市単独費により事業を実施していたが、平成25年度に策定した「公園施設長寿命化計画」に基づき、平成26年度より、社会資本整備総合交付金「都市公園安全・安心対策事業」にて国の補助を受けて実施している。</p>	

令和5年度の実績による担当課の評価（令和6年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>年に1公園ではあるが、利用者が多い身近な公園を対象に行っている。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>コスト増加が見込まれるが、1年あたりの再整備公園数を増加し、老朽化した公園のリニューアルを進めることにより、公園利用の促進や利用環境の向上が図られる。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>既存施設の利活用や、国の補助事業を活用するなど、コストの低減を図ってきており、更なるコストの削減は難しい。</p>

事業名：町名板再整備事業

【事業番号 323】

開発指導課 開発指導係

政策	05 都市基盤			戦略			
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策			
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民  
・来訪者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市民	人	119,777	119,333	118,776	118,776
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付  
2. 新設整備・改修計画に基づき、交差点に信号機型町名板を整備

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	街区型町名板整備数	枚	44	89	68	92
活動指標 2	信号機型町名板整備数	ヶ所	1	2	2	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民及び市外来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	所在確認の問い合わせ件数	件	0	0	0	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	963	1,878	1,800	2,404
正職員人件費 (B)		千円	5,325	5,323	5,203	5,225
総事業費 (A+B)		千円	6,288	7,201	7,003	7,629

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	1. 街区町名板 ～住民及び来訪者の利便性を図る ・市民要望による街区町名板の貼付 ・未貼付箇所等現況調査及び意向確認、貼付 2. 信号機型町名板 ～住民及び来訪者の利便性を図る ・信号機型町名板の整備	・街区町名板整備費 322千円 ・信号機型町名板整備費 1,478千円	

<b>事業開始背景</b>	
町名板の老朽化が著しく、市民や来訪者の利便性の向上を図る必要が生じたため。	
<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
信号機型町名板の整備は計画通り進み、現在、整備は完了した。しかし、信号機型町名板の設置から相当期間が経過したものがあため点検を行い、道路利用者の安全を確保する必要が生じた。 なお、改定した計画に基づき、今年度は、新たに信号機型町名板の整備を行うため、点検は実施しない。	

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>						
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>						
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;"><b>上がっている</b></td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3">道案内の問い合わせ件数が減少しているため。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	<b>上がっている</b>	理由 根拠	道案内の問い合わせ件数が減少しているため。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
<b>上がっている</b>	理由 根拠	道案内の問い合わせ件数が減少しているため。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>						
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3">現在、年次計画に基づき整備を進めているため、今後の整備により成果が上がることを期待できる。</td> </tr> <tr> <td><b>成果向上余地 中</b></td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	現在、年次計画に基づき整備を進めているため、今後の整備により成果が上がることを期待できる。	<b>成果向上余地 中</b>	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	現在、年次計画に基づき整備を進めているため、今後の整備により成果が上がることを期待できる。				
<b>成果向上余地 中</b>						
成果向上余地 小						
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>						
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2">平成24年度以降、費用対効果を検証した。より耐久性のある材料を採用し、コストの削減を図っているため。</td> </tr> <tr> <td><b>なし</b></td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	平成24年度以降、費用対効果を検証した。より耐久性のある材料を採用し、コストの削減を図っているため。	<b>なし</b>	
ある	理由 根拠	平成24年度以降、費用対効果を検証した。より耐久性のある材料を採用し、コストの削減を図っているため。				
<b>なし</b>						

事業名：団地集会所維持管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

団地集会所

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	施設数	箇所	5	5	5	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

団地集会所の維持・管理

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	利用可能日数	日	308	308	309	307
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

集会所利用者が安心して利用できる。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	集会所使用件数	件	87	170	189	150
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	2,782	2,698	2,433	2,523
正職員人件費 (B)		千円	761	760	743	746
総事業費 (A+B)		千円	3,543	3,458	3,176	3,269

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	団地集会所の維持管理	・集会所管理人報酬	1,710千円
		・集会所燃料費	19千円
		・集会所光熱水費	630千円

<b>事業開始背景</b>
江別市営住宅入居者の共同の福祉のために整備した集会所の適正な管理を図る。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
入居者相互の親睦の場として使用している。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、カラオケなど一部の使用を制限した。 令和5年度に使用制限を解除したが、自治会活動の縮小化の影響を受けている。

<b>令和5年度の実績による担当課の評価（令和6年度7月時点）</b>		
<b>成果動向及び原因分析</b>	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている どちらかといえば上がっている <b>上がっていない</b>	<b>理由根拠</b>
新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、自治会活動は縮小化しているため。		
<b>成果向上余地</b>	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大 成果向上余地 中 <b>成果向上余地 小</b>	<b>理由根拠</b>
主な利用者は市営住宅の入居者であり、成果指標が向上する余地は小さい。		
<b>コスト</b>	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある <b>なし</b>	<b>理由根拠</b>
築年数の経過している集会所が多く、必要最小限の費用で維持している。		

事業名：市営住宅管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅入居者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市営住宅入居戸数	戸	908	886	879	1,000
対象指標 2	市営住宅入居者数	人	1,724	1,664	1,654	2,000

手段（事務事業の内容、手法）

市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	維持修繕受付件数	件	580	581	532	550
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる（政策空家を除く）。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	入居率	%	75.2	73.2	70.8	84
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	53,819	54,524	55,995	61,404
正職員人件費 (B)		千円	13,693	13,687	13,379	13,435
総事業費 (A+B)		千円	67,512	68,211	69,374	74,839

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の小規模修繕</li> <li>住宅設備の保守点検</li> <li>家賃の決定及び徴収・滞納整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の修繕費 19,995千円</li> <li>保守点検等の委託費 18,399千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的として整備した市営住宅の適正な管理を図る。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
老朽化した住宅が多く、適正な維持管理を図る必要がある。

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている どちらかといえば上がっている <b>上がっていない</b>	理由根拠 ▶ 築年数が経過した住宅への入居希望が少ない。また、傷みが激しく、入居者を募集できない住宅が増えている。
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大 成果向上余地 中 <b>成果向上余地 小</b>	理由根拠 ▶ 築年数が経過し老朽化した住宅が多く、緊急修繕の依頼（入居者負担を含む）が多い。改修には限度があり、浴室のない住宅への入居希望は少ない。
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある <b>なし</b>	理由根拠 ▶ 築年数が経過し老朽化した住宅が多く、修繕件数も増加傾向にある。必要最小限の修繕で対応しており、現状以上のコスト削減は困難である。

事業名： 弥生団地大規模改善事業

【事業番号 6176】  
建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標						
対象（誰、何に対して事業を行うのか）						
市営住宅（弥生団地）						
指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	223	223	223	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）						
市営住宅長寿命化計画に基づき、弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施する。						
指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	外部改修戸数	戸	24	55	0	0
活動指標 2	設備改修戸数	戸	48	24	55	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。						
指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	団地改善率（改修戸数／延べ改修戸数）	%	73.3	89	100	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	164,241	166,689	87,502	0
正職員人件費 (B)		千円	761	760	7,433	0
総事業費 (A+B)		千円	165,002	167,449	94,935	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	弥生団地H棟給水設備改修工事	弥生団地H棟給水設備改修工事	48,010千円
	弥生団地H棟エレベーター改修工事	弥生団地H棟エレベーター改修工事	24,794千円

<b>事業開始背景</b>
良質な住宅の供給を図るため、「江別市営住宅長寿命化計画」を策定し、市営住宅の改善を実施していくこととした。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
江別市営住宅長寿命化計画に基づき長寿命化を実施し、完了することができた。

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>「江別市営住宅長寿命化計画」に基づき、長寿命化型改善を実施してきた。</p> <p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>令和5年度で当事業が完了したため。</p> <p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	理由根拠	<p>令和5年度で当事業が完了したため。</p> <p>ある</p> <p>なし</p>

事業名：中央団地大規模改善事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	令和 5年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅(中央団地)

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	0	0	142	142
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市営住宅長寿化に基づき、中央団地の大規模改善工事を計画的に実施する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	外部改修戸数	戸	0	0	0	32
活動指標 2	設備改修戸数	戸	0	0	0	32

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

中央団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	団地改善率（改修戸数／延べ改修戸数）	%	0	0	0	22.5
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	4,054	195,770
正職員人件費 (B)		千円	0	0	3,717	18,660
総事業費 (A+B)		千円	0	0	7,771	214,430

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	中央団地A棟給水設備改修工事実施設計委託	中央団地A棟給水設備改修工事実施設計委託	4,054千円

**事業開始背景**

良質な住宅の供給を図るため、「江別市営住宅長寿命化計画」を策定し、市営住宅の改善を実施していくこととした。

**事業を取り巻く環境変化**

「社会資本整備総合交付金制度」の改正により、改善事業における追加された対象項目を考慮しつつ、「江別市営住宅長寿命化計画」に基づいた改善事業を実施する。

**令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p><b>上がっていない</b></p>	<p>理由根拠</p> <p>「江別市営住宅長寿命化計画」に基づき、住宅の改善を計画しているが令和5年度は実施設計のみで、改善事業は令和6年度から実施する。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p><b>成果向上余地 大</b></p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>「江別市営住宅長寿命化計画」に基づき、長寿命化型、居住性向上型、脱炭素型などの改善事業を実施することにより、成果指標の向上が図られる。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	<p>ある</p> <p><b>なし</b></p>	<p>理由根拠</p> <p>改善事業において、国からの補助があるものの一次的なコストが増大することになる。住宅建物の長寿命化が図られることにより、長期的なコストの削減が図られる。</p>

事業名：道路景観づくり推進事業

【事業番号 260】  
土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市内の道路  
・違反広告物

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市内の国道・道道・市道実延長	km	864	865	865	865
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。  
・広告主への除却指導（年数回）  
・違反広告物の除却（年数回）  
・石狩振興局へ除却数を報告（年2回）

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	広告主への指導件数	件	9	6	2	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路の美観風致の維持、整然とした街並みとすることにより違反広告物を貼付しづらくする。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	違反広告物の除却数	枚	137	32	172	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	462	484	238	250
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,521	1,487	1,493
総事業費 (A+B)		千円	1,983	2,005	1,725	1,743

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広告主への除却指導</li> <li>・ 違反広告物の除却</li> <li>・ 石狩振興局へ除却枚数を報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軍手等の消耗品費 3千円</li> <li>・ 除却活動員の保険 5千円</li> <li>・ 広告調査、除却委託経費 230千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
平成17年4月1日より、権限委譲により屋外広告物法に基づく事務を委任されたことからこの事業を開始している。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
道路の美観風致を維持するとともに、公衆に対する危害の防止を目的とした。現在、道からの交付金を基に事業を実施している。

<b>令和5年度の実績による担当課の評価（令和6年度7月時点）</b>				
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？				
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>違反広告物の総数が大幅に減少している。 (平成27年度以前の除却数は、1,000枚以上で最大2,444枚)</p> </td> </tr> </table>	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	<p>違反広告物の総数が大幅に減少している。 (平成27年度以前の除却数は、1,000枚以上で最大2,444枚)</p>
<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	<p>違反広告物の総数が大幅に減少している。 (平成27年度以前の除却数は、1,000枚以上で最大2,444枚)</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>市と市民が協力して除却することにより、違法屋外広告物に対する意識が高まり、原因者が屋外広告物を貼る行為が減少する。</p> </td> </tr> </table>	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	<p>市と市民が協力して除却することにより、違法屋外広告物に対する意識が高まり、原因者が屋外広告物を貼る行為が減少する。</p>
<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	<p>市と市民が協力して除却することにより、違法屋外広告物に対する意識が高まり、原因者が屋外広告物を貼る行為が減少する。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？				
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding-left: 10px;"> <p>違反広告物の減少に伴い、除却作業回数を減らしており、これ以上のコスト削減は困難である。 (H31年度に年10回から年6回へ回数を減らし、コスト縮減を行った。)</p> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠	<p>違反広告物の減少に伴い、除却作業回数を減らしており、これ以上のコスト削減は困難である。 (H31年度に年10回から年6回へ回数を減らし、コスト縮減を行った。)</p>
<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠	<p>違反広告物の減少に伴い、除却作業回数を減らしており、これ以上のコスト削減は困難である。 (H31年度に年10回から年6回へ回数を減らし、コスト縮減を行った。)</p>		

事業名：大麻市営駐車場管理経費

【事業番号 270】  
土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

大麻市営駐車場

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	10,434	11,969	12,260	12,780
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車削減を図る。  
(令和3年度より成果指標2を変更)

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	年間延べ利用台数	台	33,609	40,827	43,541	42,000
成果指標 2	不具合件数（苦情・要望件数）	件	8	7	0	8

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	10,434	11,969	12,260	12,780
正職員人件費 (B)		千円	2,282	2,281	2,230	2,239
総事業費 (A+B)		千円	12,716	14,250	14,490	15,019

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度	・指定管理者へ市営駐車場の運営管理を委託	・指定管理料 12,260千円

<b>事業開始背景</b>
昭和46年5月12日に新住宅市街地開発法に基づき譲与された駐車場を昭和46年7月15日より利用開始する。昭和53年6月20日に駐車場条例が制定される。その後昭和56年6月30日より有料化の開始。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
H18年度より指定管理者制度導入

<b>令和5年度の実績による担当課の評価（令和6年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている <b>どちらかといえば上がっている</b> 上がっていない	理由 根拠
	多くの市民に利用されており、駅周辺の路上駐車も見られない。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大 <b>成果向上余地 中</b> 成果向上余地 小	理由 根拠
	指定管理者の対応が良く利用者に好評だが、駐車スペースに限りがあり大幅な利用者増加は見込めない。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある <b>なし</b>	理由 根拠
	指定管理者制度を導入し、コスト削減を図っている。	

事業名：除排雪事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公共除排雪対象の市道及び公共施設等

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	837	838	838	838
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

ほぼ連続した降雪により、降り始めからの降雪量10cmを目安として、除雪作業を要すると認められる状況であるほか、断続的な降雪や吹き溜まり等で、交通障害が予想される場合に除雪作業を実施する。  
また、道路幅員の狭窄、路肩の雪堤状況等諸条件から総合的に判断し、運搬排雪作業を行う。  
自治会が主体で実施する排雪作業に対し、ロータリ除雪車（車輛のみ）とダンブトラック（車輛と運転手）を貸与し、支援を行う。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	除雪延長	km	737	739	740	740
活動指標 2	自治会排雪の実施自治会数	自治会	104	105	106	106

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

冬期間の円滑な道路交通網を確保する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	降雪・吹雪による通行止めとなった箇所数	箇所	2	1	2	0
成果指標 2	自治会排雪実施延長	km	349	350	357	352

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	1,787,237	1,472,253	1,560,156	1,782,594
正職員人件費 (B)		千円	28,146	27,755	27,130	27,244
総事業費 (A+B)		千円	1,815,383	1,500,008	1,587,286	1,809,838

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>除排雪業務</li> <li>自治会排雪支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除排雪業務 1,190,068千円</li> <li>自治会排雪支援 243,452千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>	
冬期間の安全で円滑な道路交通の確保を目的に事業を開始した。	
<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
高齢化に伴い除排雪への市民ニーズは増大する一方、事業者の人手不足等に伴い除排雪体制の維持が難しくなっている。	

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>						
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>						
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;"><b>上がっている</b></td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3">本事業により冬期間の市内交通ネットワークが確保されているほか、生活道路の排雪支援も着実に実施されているため。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	<b>上がっている</b>	理由 根拠	本事業により冬期間の市内交通ネットワークが確保されているほか、生活道路の排雪支援も着実に実施されているため。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
<b>上がっている</b>	理由 根拠	本事業により冬期間の市内交通ネットワークが確保されているほか、生活道路の排雪支援も着実に実施されているため。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>						
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3">新規宅造区域への自治会排雪の導入の余地があるため。</td> </tr> <tr> <td><b>成果向上余地 中</b></td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	新規宅造区域への自治会排雪の導入の余地があるため。	<b>成果向上余地 中</b>	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	新規宅造区域への自治会排雪の導入の余地があるため。				
<b>成果向上余地 中</b>						
成果向上余地 小						
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>						
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2">冬期間の市民生活を支えるため最も基礎的な事業であり、今後とも現状の除雪体制の維持が重要であるため。</td> </tr> <tr> <td><b>なし</b></td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	冬期間の市民生活を支えるため最も基礎的な事業であり、今後とも現状の除雪体制の維持が重要であるため。	<b>なし</b>	
ある	理由 根拠	冬期間の市民生活を支えるため最も基礎的な事業であり、今後とも現状の除雪体制の維持が重要であるため。				
<b>なし</b>						

事業名：私道除雪補助金

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般通行の用に供する私道

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	私道除雪申請延長	km	1.31	1.31	1.37	1.31
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

自治会が行う私道除雪について、市が算定する補助基準額の2分の1以内の額を自治会に補助する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	933	1,011	1,190	1,384
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

私道における冬期間の交通確保を図る。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	私道除雪延長	km	1.31	1.31	1.37	1.31
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	933	1,012	1,190	1,384
正職員人件費 (B)		千円	380	380	372	373
総事業費 (A+B)		千円	1,313	1,392	1,562	1,757

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度	・私道除雪補助金 10自治会 L=1.37km	・私道除雪補助金 1,190千円

<b>事業開始背景</b>
一般に利用されている私道について、冬期間の道路交通を目的として事業開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
周辺環境の変化等により、申請延長が増減する場合がある。

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由根拠
	<b>どちらかといえば上がっている</b>	
上がっていない		
自治会からの申請された延長を完遂しているため。		
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
<b>成果向上余地 小</b>		
すでに必要とされている自治会に浸透しているため。		
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある	理由根拠
	<b>なし</b>	
制度上、既にコストを最低限とする内容であるため。		

事業名：不法投棄対策事業（市道）

【事業番号 747】  
土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	837	838	838	838
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市道に不法投棄された廃棄物について、巡回のうえ回収・処理する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、更なる不法投棄発生を抑制する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	不法投棄物延べ処理件数	件	201	168	197	300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	4,400	4,247	3,702	5,044
正職員人件費 (B)		千円	380	1,141	1,115	1,120
総事業費 (A+B)		千円	4,780	5,388	4,817	6,164

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	不法投棄された廃棄物について、巡回のうえ回収・処理を行う。	委託費	3,702千円

<b>事業開始背景</b>
市の家庭系ごみの収集が平成16年10月より原則有料となったことから、不法投棄が一時的に増加するものと予想され、その対策のため
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
家庭系ごみの有料化や、家電製品等についてもリサイクル料金が発生するようになり、不法投棄の要因が増加している

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠
定期的な巡回を行ない、不法投棄物を適切に処理することにより、安全で快適な道路環境を維持している。		
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠
不法投棄禁止に関する啓発活動の拡大や意識の醸成により、不法投棄そのものが減少する余地はある。		
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠
最低限の巡回回数にするなど、これまでも経費削減に努めてきており、これ以上のコスト削減は難しい。		

事業名：道路橋梁管理経費（臨時）

【事業番号 3024】

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	837	838	838	838
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

老朽化した道路施設の改修や再整備工事

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	実施延長	km	3.3	4.2	2.8	3.4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路利用者が安心して通行できる道路環境を維持する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	不具合件数（市民からの苦情・要望件数）	件	726	935	888	700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	468,753	482,901	545,457	606,865
正職員人件費 (B)		千円	15,214	15,968	15,609	15,674
総事業費 (A+B)		千円	483,967	498,869	561,066	622,539

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事路線現況測量</li> <li>・路面凍上改修工事</li> <li>・農村地区舗装新設工事</li> </ul>	委託費	9,478千円
		工事費	534,014千円

<b>事業開始背景</b>
高度成長期以降に整備された道路施設の老朽化の更新や未整備路線の道路整備を行うために事業を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
近年、車社会の発展により、道路の安全に対する市民の関心が高まっている、また、老朽化した道路施設の更新も強くなっている。

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>				
<b>成果動向及び原因分析</b>	<p>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>老朽化した道路施設の改修や再整備、未整備路線の道路整備を実施することで、着実に道路環境の向上が図られている。</p> </td> </tr> </table>	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由 根拠	<p>老朽化した道路施設の改修や再整備、未整備路線の道路整備を実施することで、着実に道路環境の向上が図られている。</p>
<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由 根拠	<p>老朽化した道路施設の改修や再整備、未整備路線の道路整備を実施することで、着実に道路環境の向上が図られている。</p>		
<b>成果向上余地</b>	<p>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>事業規模を拡大することで成果が向上する余地はある。</p> </td> </tr> </table>	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由 根拠	<p>事業規模を拡大することで成果が向上する余地はある。</p>
<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由 根拠	<p>事業規模を拡大することで成果が向上する余地はある。</p>		
<b>コスト</b>	<p>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>これまでも経費削減の工夫を重ねてきており、これ以上のコスト削減は難しい。</p> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由 根拠	<p>これまでも経費削減の工夫を重ねてきており、これ以上のコスト削減は難しい。</p>
<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由 根拠	<p>これまでも経費削減の工夫を重ねてきており、これ以上のコスト削減は難しい。</p>		

事業名：道路橋梁管理経費（経常）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	837	838	838	838
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

道路施設の維持及び損傷箇所の補修や復旧対応

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	市道管理延長	km	837	838	838	838
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路利用者が安心して通行できる道路環境を維持する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	不具合件数（市民からの苦情・要望件数）	件	726	935	888	700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	152,999	155,994	166,721	174,000
正職員人件費 (B)		千円	8,368	9,125	8,920	8,957
総事業費 (A+B)		千円	161,367	165,119	175,641	182,957

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面清掃委託</li> <li>幹線道路草刈委託</li> <li>道路維持管理委託</li> <li>舗装補修工事</li> <li>補充用砂利、舗装補修用常温合材の購入</li> </ul>	委託費	90,771千円
		工事費	70,997千円
		原材料費	4,953千円

<b>事業開始背景</b>
安全な交通環境を維持するため、パトロールや清掃、損傷箇所の補修を行う必要があることから事業を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
道路施設の老朽化が進行し、補修箇所の要望が増加している。

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>	
<b>成果動向及び原因分析</b>	<p>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</p> <p>道路施設全般で老朽化が進行していることから、緊急性や危険性の高い損傷から優先的に補修等を実施し、道路の安全性の確保に努めている。</p> <p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> <p>理由根拠</p>
<b>成果向上余地</b>	<p>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</p> <p>事業規模を拡大することにより成果が向上する余地はある。</p> <p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <p>理由根拠</p>
<b>コスト</b>	<p>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</p> <p>これまでも経緯縮減の工夫を重ねており、これ以上のコスト削減は難しい。</p> <p>ある</p> <p>なし</p> <p>理由根拠</p>

事業名：ロードヒーティング管理経費

【事業番号 4723】

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

路面融雪施設

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	ロードヒーティング延長	m	1,388.2	1,388.2	1,359.1	1,388.2
対象指標 2	ロードヒーティング面積	m <sup>2</sup>	7,651.7	7,651.7	6,973.7	7,651.7

手段（事務事業の内容、手法）

冬期間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかの確認を行う。更新計画を策定し老朽化した施設の更新を図り、効率的な運用を目指す。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	巡回・点検回数	回	16	16	16	16
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

ロードヒーティングの適切な維持管理により冬期間の安全で円滑な交通を確保する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	不具合件数（点検結果）	件	4	4	5	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	40,127	50,574	40,531	50,921
正職員人件費 (B)		千円	761	1,521	1,487	1,493
総事業費 (A+B)		千円	40,888	52,095	42,018	52,414

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費</li> <li>施設等修繕</li> <li>点検業務</li> </ul>	光熱水費 37,375千円 施設等修繕費 2,307千円 委託費 815千円	

<b>事業開始背景</b>
平成3年度のスパイクタイヤの使用禁止に伴い、道路勾配の急な交差点の交通安全の確保のため事業が開始された。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
スタッドレスタイヤの性能の向上に伴い、電気料金節約のため緩勾配箇所等、冬期間電源を入れない自治体が出てきている。

<b>令和5年度の実績による担当課の評価（令和6年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>上がっている</p> <p><b>どちらかといえば上がっている</b></p> <p>上がっていない</p> <p>ロードヒーティング敷設箇所の安全性は確保されており、一定の成果が上がっている。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p><b>成果向上余地 小</b></p> <p>ロードヒーティング敷設箇所の安全性は確保されており、これ以上の向上の余地は小さい。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	理由根拠	<p><b>ある</b></p> <p>なし</p> <p>これまでも経費削減工夫を重ねてきており、令和5年度はスタッドレスタイヤの性能向上を踏まえ、一部ロードヒーティングの稼働停止を実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい状況であるが、引き続き、ロードヒーティングの稼働停止箇所の検討により、コスト削減の余地はある。</p>

事業名：橋梁長寿命化事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道の橋梁

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	橋梁（市道）	橋	147	147	147	145
対象指標 2	修繕が必要な橋梁数	橋	38	38	38	42

手段（事務事業の内容、手法）

- ・江別市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年2月19日策定）に基づき修繕工事を実施する。
- ・各橋梁について、5年に一度の近接目視による点検を実施する。
- ・道路メンテナンス事業補助制度を活用し実施する。（補助率6/10）  
（令和3年度より活動指標2を追加）

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	当該年度修繕対象橋梁数（完了）	橋	8	7	2	5
活動指標 2	橋梁点検数	橋	21	0	0	56

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

計画的な予防修繕により、橋梁の延命化（長寿命化）を図ることで修繕費等を縮減する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	修繕工事が完了した橋梁の割合（令和6年度より第2期計画）	%	63.2	81.6	86.8	11.9
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	181,303	204,990	177,312	114,400
正職員人件費 (B)		千円	9,128	9,885	9,663	9,703
総事業費 (A+B)		千円	190,431	214,875	186,975	124,103

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁修繕工事実施設計</li> <li>・橋梁修繕工事</li> </ul>	委託費	58,026千円
		工事費	119,286千円

事業開始背景	
<p>江別市が管理する橋梁、147橋のうち、江別市が大きく発展した1970年～1990年代に建設された橋梁が129橋で、全体の80%以上を占めており、20年後には建設後50年を経過する橋梁の割合が50%を超え、急速に老朽化した橋梁の増大が予想される。 このため老朽化対策やコスト縮減への取組みとして江別市橋梁長寿命化修繕計画を策定し計画的な修繕工事に着手することとした。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱（平成19年4月2日国土交通省施行）</li> <li>・市町村を対象とした長寿命化修繕計画策定費の支援は、平成19年度～平成25年度</li> <li>・当該計画に基づく修繕工事は、国の補助事業導入が可能となる。</li> <li>・道路法施行規則の一部改正に基づき実施した橋梁点検結果を踏まえ、令和5年度までに修繕が必要な橋梁数を46橋から38橋に変更。</li> </ul>	

令和5年度の実績による担当課の評価（令和6年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	<b>どちらかといえば上がっている</b>	
	上がっていない	
概ね計画に沿って事業が進捗しているため。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	<b>成果向上余地 中</b>	
	成果向上余地 小	
これまで国の補助事業制度を活用し事業を実施してきており、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	<b>なし</b>	
これまで国の補助事業制度を活用し事業を実施してきており、これ以上のコスト削減は難しい。		

事業名：道路施設再整備事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

道路施設全般

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	道路施設数	箇所	212	212	212	212
対象指標 2	対象道路延長	km	247	247	247	247

手段（事務事業の内容、手法）

舗装や擁壁などの道路施設全般について、点検や調査を行い、損傷度などを踏まえ改修や修繕を実施する。社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助金 6 / 10）

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	道路施設点検件数	箇所	0	0	0	0
活動指標 2	道路路面調査延長	km	0	0	0	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化が進行する道路施設全般について、点検や調査を行い、損傷度などを踏まえ改修や修繕を実施することにより、道路利用者や第三者への被害を防止する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	改修、修繕箇所数	箇所	2	0	0	1
成果指標 2	改修、修繕延長	km	0.9	2.1	2.2	2.6

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	150,916	197,673	124,339	257,000
正職員人件費 (B)		千円	6,086	6,844	6,690	6,718
総事業費 (A+B)		千円	157,002	204,517	131,029	263,718

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	・舗装修繕工事	工事費	123,591千円

<b>事業開始背景</b>
道路ストック点検等の法定点検が義務化され、その結果により、修繕、補修を行うため事業が開始された。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
年々老朽化が進行し、対象となる路線も増加する傾向にある。

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">点検結果に基づき、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>どちらかといえば上がっている</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	点検結果に基づき、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。	<b>どちらかといえば上がっている</b>	上がっていない
上がっている	理由 根拠	点検結果に基づき、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。				
<b>どちらかといえば上がっている</b>						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">これまで国の交付金事業や補助事業を活用し事業を実施してきており、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>成果向上余地 中</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	これまで国の交付金事業や補助事業を活用し事業を実施してきており、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。	<b>成果向上余地 中</b>	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	これまで国の交付金事業や補助事業を活用し事業を実施してきており、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。				
<b>成果向上余地 中</b>						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">これまで国の社会資本整備総合交付金や補助事業制度を活用し事業を実施してきており、これ以上のコスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>なし</b></td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	これまで国の社会資本整備総合交付金や補助事業制度を活用し事業を実施してきており、これ以上のコスト削減は難しい。	<b>なし</b>	
ある	理由 根拠	これまで国の社会資本整備総合交付金や補助事業制度を活用し事業を実施してきており、これ以上のコスト削減は難しい。				
<b>なし</b>						

事業名：道路橋梁再整備事業

【事業番号 6173】  
都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち再整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	1.55	0.45	0.65	0.95
対象指標 2	事業路線数	路線	3	1	1	2

手段（事務事業の内容、手法）

- ・経年劣化などにより損傷した路線について、道路改良や舗装新設などの必要な再整備を実施する。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0.54	0.25	0.19	0.45
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	3	1	1	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・損傷した路線の再整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な道路環境を確保する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0.81	0.45	0.35	0.8
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	1	1	0	1

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	84,751	33,077	35,640	83,900
正職員人件費 (B)		千円	8,368	6,083	2,230	2,239
総事業費 (A+B)		千円	93,119	39,160	37,870	86,139

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	・元江別1号幹線改修工事	・元江別1号幹線改修工事	35,640千円

<b>事業開始背景</b>
<p>中心市街地と住宅地を連結する重要な幹線道路において、冬期間の凍上や老朽化等により悪化した路面状況が、車両等の通行に支障となっていることから、安全・快適な通行環境を確保する取り組みとして再整備事業に着手することとなった。</p>
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・路面性状調査等の結果により、国の補助事業導入が可能な場合がある。</li> </ul>

<b>令和 5年度の実績による担当課の評価（令和 6年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>社会資本整備総合交付金を活用し、概ね予定どおり事業が進捗している</p>
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>社会資本整備総合交付金の配分額により、事業が進捗する余地はある</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>社会資本整備総合交付金を活用するとともに、北海道土木積算システムの導入により事務処理の効率化を図っており、更なるコスト削減は難しい</p>

事業名：道路橋梁新設改築事業

【事業番号 6211】  
都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	2.84	3.85	4.15	3.68
対象指標 2	事業路線数	路線	4	5	6	6

手段（事務事業の内容、手法）

- ・幹線道路等について、新設のほか拡幅や歩道造成などの必要な整備を行う。
- ・社会資本整備総合交付金等を活用し実施する。（補助率6/10、新設は5/10）

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0.66	0.54	0.26	1.35
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	4	5	6	6

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・幹線道路等の必要な整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な道路環境を確保する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0.66	1.2	1.46	2.34
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	0	0	1	1

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度当初
事業費 (A)		千円	338,539	308,903	306,088	219,807
正職員人件費 (B)		千円	12,171	14,448	14,123	14,182
総事業費 (A+B)		千円	350,710	323,351	320,211	233,989

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元江別66号道路整備工事</li> <li>・兵村4丁目通り整備工事</li> <li>・元江別中央通り整備工事</li> <li>・兵村12丁目通り 用地取得・物件補償</li> <li>・角山旧豊平川沿岸道路整備工事</li> <li>・野幌町48号道路 実施設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元江別66号道路整備工事 39,105千円</li> <li>・兵村4丁目通り整備工事 76,582千円</li> <li>・元江別中央通り整備工事 83,666千円</li> <li>・兵村12丁目通り 用地取得・物件補償 8,950千円</li> <li>・角山旧豊平川沿岸道路整備工事 33,583千円</li> <li>・野幌町48号道路 実施設計 7,370千円</li> </ul>

**事業開始背景**

市内を東西に走る生活幹線道路（通称、百間境道路）については、総延長が約10 kmあり、幹線道路を補う重要な路線として位置づけられて整備が進められてきたが、近年は用地や財源の問題などにより、3路線約0.9 kmが未整備のまま残されており、地元自治会からは早期の整備要望が寄せられていた。  
平成28年3月、野幌住吉町内の私道路について寄付採納により市道となったことで、元野幌274号道路については、補助事業での整備が可能となり事業着手することとなった。

**事業を取り巻く環境変化**

平成26年 4月 元江別66号道路の整備要望が、自治会より寄せられる。  
平成26年10月 元江別66号道路の整備について、沿線住民に意向調査を実施。  
平成28年 3月 元野幌274号道路に接続する私道路が、寄付採納により市道となり、補助事業での整備が可能となる。

**令和5年度の実績による担当課の評価（令和6年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<input checked="" type="radio"/> 上がっている <input type="radio"/> どちらかといえば上がっている <input type="radio"/> 上がっていない	理由根拠
	社会資本整備総合交付金等を活用し、概ね予定どおり事業が進捗している	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<input type="radio"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="radio"/> 成果向上余地 中 <input type="radio"/> 成果向上余地 小	理由根拠
	社会資本整備総合交付金の配分額により、事業が進捗する余地はある	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> なし	理由根拠
	社会資本整備総合交付金等を活用するとともに、北海道土木積算システムの導入により事務処理の効率化を図っており、更なるコスト削減は難しい	